

九九のテスト

2年 ものがたり文 18ばん

なまえ

きょうは、九九のテストです。ゆうとは、七のだんがが手です。前の日の夜も、おふろの中で何ともなえしました。

ゆうとのばんです。「しちいちがしち、しちにじゅうし……。」「しちしちのところで、声が止まりました。頭の中が、まっ白になりました。

先生は、にっこりまっています。うしろのせきで、けんたが小さくうなずきました。

ゆうとは、大きくいきをすいました。「しちしちしじゅうく。」あとは、さいごまですらすらと言えました。

せきにもどると、けんたが「やったね。」と言いました。ゆうとは、うれしくて、下をむいてわらいました。



(1)「すらすらと」のいみに合うものを一つえらび、記ごうに○をつけましょう。

ア ときどき止まりながら

イ とちゅうで止まらずに、つぎつぎと

ウ 小さな声でそっと

エ ゆっくり考えながら

(2) しちしちのところで声が止まったとき、ゆうとの頭の中はどうになりましたか。一つえらび、記ごうに○をつけましょう。

ア 九九でいっぱいになった

イ おふろのことを思い出した

ウ けんたのことでいっぱいになった

エ まっ白になった

(3) 前の日の夜、ゆうとはどこで九九をとなえしましたか。文しょうから五字で書きぬきましょう。

(4) 声が止まったあと、ゆうとはまずどうしましたか。書きましょう。

書き方のヒント

四つ目のだんらくのはじめを見てみよう。

「〜と言った。」でおわらせる。

九九のテスト

こたえ

2年 ものがたり文 18ばん

なまえ

きょうは、九九のテストです。ゆうとは、七のだんがにが手です。前の日の夜も、おふろの中で何ともなえしました。

ゆうとのばんです。「しちいちがしち、しちにじゅうし……。」「しちしちのところで、声が止まりました。頭の中が、まっ白になりました。

先生は、にっこりまっています。うしろのせきで、けんたが小さくうなずきました。

ゆうとは、大きくいきをすいました。「しちしちしじゅうく。」あとは、さいごまですらすらと言えました。

せきにもどると、けんたが「やったね。」と言いました。ゆうとは、うれしくて、下をむいてわらいました。



(1)「すらすらと」のいみに合うものを一つえらび、記ごうに○をつけましょう。
ア ときどき止まりながら
イ とちゅうで止まらずに、つぎつぎと
ウ 小さな声でそっと
エ ゆっくり考えながら

(2) しちしちのところで声が止まったとき、ゆうとの頭の中はどうになりましたか。一つえらび、記ごうに○をつけましょう。

ア 九九でいっぱいになった
イ おふろのことを思い出した
ウ けんたのことでいっぱいになった
エ まっ白になった

(3) 前の日の夜、ゆうとはどこで九九をとなえしましたか。文しょうから五字で書きぬきましょう。

お
ふ
ろ
の
中

(4) 声が止まったあと、ゆうとはまずどうしましたか。書きましょう。

(れい) 大きくいきをすって、「しちしちしじゅうく。」と言った。

書き方のヒント

四つ目のだんらくのはじめを見てみよう。

「〜と言った。」でおわらせる。

解答・解説 九九のテスト（2年・ものがたり文）

この話はフィクションです。実在の人物・団体とは関係ありません。

もん 問1 イ

よっめ 四つ目の だんらくに「あとは、さいごまで すらすらと 言えました」とあります。とちゅうで 止まらずに 言えた ようすです。

もん 問2 エ

ふため 二つ目の だんらくに「頭の 中が、まっ白になりました」と書いてあります。

もん 問3 おふろの中

ひとめ 一つ目の だんらくに「前の 日の 夜も、おふろの 中で 何とも となえました」と書いてあります。

もん 問4 （れい）大きくいきをすって、「しちしち しじゅうく。」と言った。

よっめ 四つ目の だんらくに「ゆうとは、大きくいきを すいました」とあり、つづけて「しちしち しじゅうく。」と 言えています。大きくいきを すった ことが 書けて いれば ○ です。